



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2006年7月12日
MR/J24/06

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国際連合大学水・環境・保健に関する国際ネットワーク(UNU-INWEH) ザファー・アディール博士、所長に就任

発展途上国の水管理問題についての国際的な研究者で専門家のザファー・アディール博士は7月1日、国際連合大学水・環境・保健に関する国際ネットワーク (UNU-INWEH) の所長に就任した。UNU-INWEH 創立時からの所長であるラルフ・デイリー博士が10年の任期を終えて退職したため、その後任を務めることになる。

UNU-INWEH はカナダのオンタリオ州ハミルトンにあるマクマスター大学を本部とする機関で、世界13ヶ所ある、国連大学 研究・研修センター/プログラム (RTC/P) のひとつである。主として、カナダ政府から運営資金の拠出を受け、画期的な国際淡水能力開発サービスを提供するとともに、発展途上国がその重要な水管理のニーズに対応できるように、支援活動をしている。

アディール博士は世界でこの分野を専門とする89人の候補者の中から選出された。「候補者の数の多さや質の高さからして、水の分野でUNU-INWEHがいかに重要な地位を占めているかわかる」と、国連事務次長であり、国連大学学長でもあるハンス・ファン・ヒンケル教授は述べている。「UNU-INWEHへの高い評価を維持し、さらに高めてゆくために、アディール博士の持てる能力、経験、エネルギーが活かされることは大変喜ばしい」。

さらに、「UNU-INWEHは、国連大学の世界中に広がる研究・研修センター/プログラムの中でも最も成功しているプログラムのひとつである」とファン・ヒンケル教授。「UNU-INWEHはいくつもの発展途上国で水の質・量両面での向上をはかることによって、健康を改善し、国連の総合的な水アジェンダの戦略開発において重要な役割を果たしてきた」とも指摘する。

アディール博士は2003年にUNU-INWEHのアソシエイト・ディレクターに就任。それ以前は東京の国連大学本部で環境と持続可能な開発プログラムに携わっていた。国際環境問題については約16年の経験の持ち主で、昨年は専門家チームのリーダーとなり、画期的な国際ミレニアム・エコシステム・アセスメントの一環として、世界の砂漠化に関する報告書を作成。これまでアジアやアフリカでいくつもの水関連のイニシアチブに携わっており、5,000万人分以上の飲用水が砒素によって汚染されているアジアの深刻な地下水問題には特に力を注いでいる。

アディール博士はパキスタン出身。同国ラホール技術工科大学で土木工学の学士号を取得後、アイオワ州立大学(米国)で環境工学の修士号を取得、カーネギー・メロン大学(米国)で土木環境工学の博士号を取得した。

ザファー・アディール博士への取材をご希望される方は、下記担当者までお知らせください。
国連大学広報部、担当：谷野(やの)(電話：03-5467-1311；メール：media@unu.edu)

PUBLIC ANNOUNCEMENT



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。